

佐賀県感染症発生動向調査速報

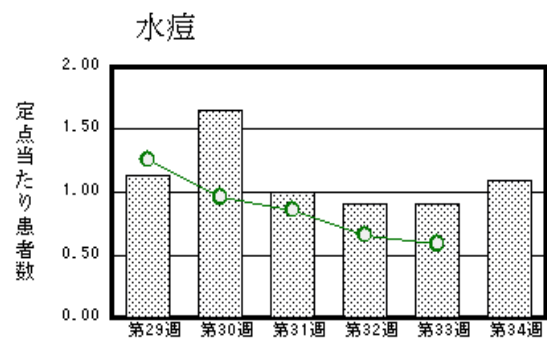
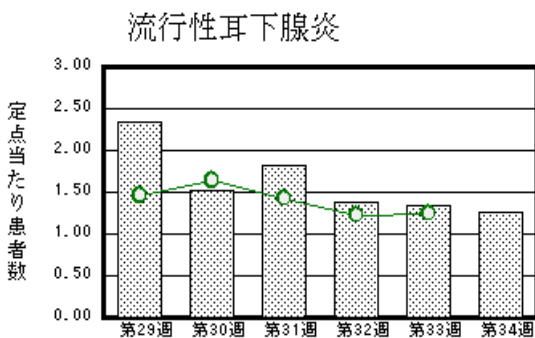
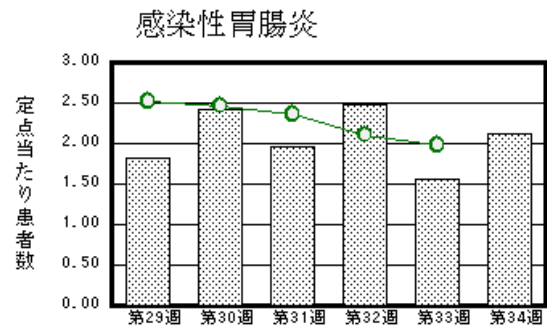
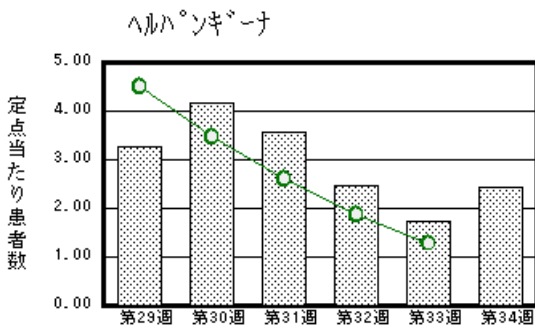
平成17年第34週 平成17年8月22日(月)～平成17年8月28日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 ヘルパンギーナ (56名) 感染性胃腸炎 (49名) 流行性耳下腺炎 (9名)
突発性発しん (28名) 水痘 (25名)
- 【ヘルパンギーナ】患者報告数が増加しました(40 56名)。過去5年間の同時期と比較して多くなっています。うがい、手洗い等感染予防に努めましょう
- 【腸管出血性大腸菌感染症】唐津保健所管内で4名(O157)の届出がありました。前年同時期と比較して多くなっています。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱等一般的な食中毒予防に心がけましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp/o157/o157.html>



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2005年第32週号 (8月8日～8月14日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第32週 > インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< マイコプラズマ肺炎 > 2005年は過去5年間の同時期と比較して、常にその平均値を超える状態が続いている < 腸管出血性大腸菌感染症 > 第32週までの累積報告数は1,816例である
・ 病原体情報	手足口病患者から検出されているウイルス2005年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2005年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2005年
・ 速報	宮城県における手足口病の地域流行
・ 海外感染症情報	鳥類でのH5N1型鳥インフルエンザ感染の地理的拡大 現状の評価と公衆衛生上の意義 / 中国での豚レンサ球菌流行
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157)* (三類感染症)	
患者 (住所地)	1名(女児) (唐津保健所管内)	
無症状病原体保有者	3名	
感染原因・感染経路	調査中	
平成17年届出累計	19件43名 (今週1件4名)	
平成16年	同 期	10件27名
	届出累計	22件48名

* 平成17年8月29日記者公表分

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 :五類感染症 (週報分)

平成17年第34週

平成17年8月22日(月)~平成17年8月28日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第33週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								143 0.03
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								31
	咽頭結膜熱	1 0.13	6 2.00	2 0.50	4 1.33		13 0.57	14 0.61	1371 0.45
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	1 0.13	6 2.00	1 0.25	2 0.67	1 0.20	11 0.48	11 0.48	1101 0.36
	感染性胃腸炎	14 1.75	22 7.33	6 1.50	2 0.67	5 1.00	49 2.13	36 1.57	5966 1.98
	水痘	4 0.50	6 2.00	4 1.00	9 3.00	2 0.40	25 1.09	21 0.91	1784 0.59
	手足口病	4 0.50	8 2.67		2 0.67	3 0.60	17 0.74	23 1.00	2388 0.79
	伝染性紅斑	1 0.13				1 0.20	2 0.09	5 0.22	508 0.17
	突発性発しん	6 0.75	10 3.33	6 1.50	4 1.33	2 0.40	28 1.22	30 1.30	1990 0.66
	百日咳		1 0.33				1 0.04		37 0.01
	風しん								13 0.00
	ヘルパンギーナ	18 2.25	7 2.33	17 4.25	3 1.00	11 2.20	56 2.43	40 1.74	3847 1.28
	麻しん (成人 麻しんを除く)								14 0.00
流行性耳下腺炎	14 1.75	7 2.33	1 0.25	4 1.33	3 0.60	29 1.26	31 1.35	3761 1.25	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								20 0.03
	流行性角結膜炎	1 0.50				1 1.00	2 0.50	2 0.50	835 1.30
基幹 (6)	細菌性髄膜炎		1 1.00				1 0.17		5 0.01
	無菌性髄膜炎	1 0.50					1 0.17	2 0.33	26 0.06
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00				1 0.17	2 0.33	116 0.25
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								3 0.01
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は32週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成17年第34週 平成17年8月22日(月)~平成17年8月28日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSV ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満					2			2						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		1		3	2	3		15			4			12ヶ月未満								
1歳		1歳		3		8	7	7		11	1		20		4	1歳			1					
2歳		2歳		4		6	3	2					16		4	2歳								
3歳		3歳			1	3	4						7		7	3歳								
4歳		4歳			1	3	3	2	1				6		6	4歳								
5歳		5歳		1	3	3	2	1					2		4	5歳								
6歳		6歳		2	3	2			1						1	6歳								
7歳		7歳				3									1	7歳					1			
8歳		8歳		2	1	2										8歳								
9歳		9歳			1	1	1						1		1	9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳			1	4		2								10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳				2										15歳~19歳		1						
20歳~29歳		20歳以上				9	1								1	20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳		1		1				
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		13	11	49	25	17	2	28	1		56		29	合計		2	1	1	1			
前期計		前期計		14	11	36	21	23	5	30			40		31	前期計		2		2	2			
当期間/前	***	当期間/前	***	0.93	1	1.36	1.19	0.74	0.4	0.93	***	***	1.4	***	0.94	当期間/前	***	1	***	0.5	0.5	***	***	
増減数		増減数		-1		13	4	-6	-3	-2	1		16		-2	増減数			1	-1	-1			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

